

# 深大寺レジデンス

No. 20-001-2010更新  
新築  
集合住宅

発注者	総合地所 株)、三井不動産レジデンシャル 株)、株)新日本建物、株)長谷工コーポレーション	カテゴリー	
設計・監理	株式会社長谷工コーポレーション エンジニアリング事業部	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB
施工	株式会社長谷工コーポレーション	E. リニューアル	F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性 K. その他

## アドレスは武蔵野・深大寺

### 計画コンセプト

調布市北部は、武蔵野段丘や国分寺崖線に自然の樹林が広がり、深大寺などの歴史的な遺産が分布し、崖線から湧き出る湧水など、貴重な武蔵野の風情を残している地域である。

深大寺レジデンスは、地域の景観特性や地域環境である武蔵野の風景を取り戻そうと試みたプロジェクトであり、生活の場が武蔵野の風景を創り出していた、生活と自然とが密接な関係にあった時代の「水と緑のある暮らし」を住まいのランドスケープに織り込んでいる。

大規模な集合住宅の計画は、既存の街並みに対して影響を及ぼすことが多いが、この計画は地域や時間をよんだ緑の環境を提供することで、周辺地域とゆるやかにつながる環境を創出しているプロジェクトである。緑が住宅の品質と価値を牽引する積極的な役割を果たした住宅開発の成功事例として高く評価されている。

- 第28回緑の都市賞 国土交通大臣賞
- 第8回屋上壁面特殊緑化技術コンクール 環境大臣賞
- 第23回公共の色彩賞 環境色彩10選



既存樹（桜）を残したエントランス広場



平面プラン



エントランスの水景

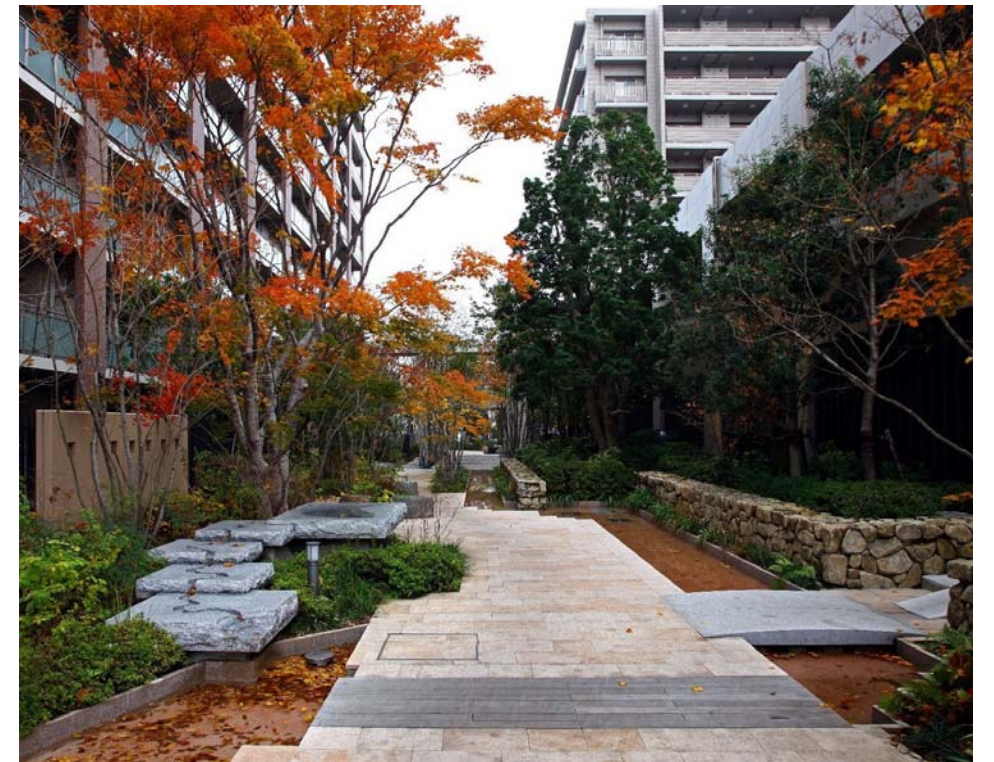
### 環境配慮の概要

武蔵野の再生：地域の景観・環境特性ある暮らしの場に豊かな水と緑があった武蔵野の再生を目指した。

風景の路：緑と石積みが続く武蔵野の風情ある公開歩道（約847m）は、通学路として利用されるなど地域の路とした。水景の路：地域の豊かな水。その印象を再現した水景は、瑞々しいシーンが展開する武蔵野の水辺と緑の環境を創出した。土地の記憶：明大野球場時代の既存樹の桜を残し、記念碑を計画するなど、土地の記憶を伝承した。



水景の路・夜景



水景の路・紅葉の頃

### 武蔵野テラス（屋上庭園）

駐車場棟上部の屋上庭園・武蔵野テラスは、武蔵野の風情や自然環境に配慮した植栽・施設計画を施し、庭園を通して居住者が自然に親しめるように工夫している。また、瓦の埋め込まれた園路の先に広がる深大寺周辺の緑を庭に取り込み、奥行きあるランドスケープ空間を実現している。



武蔵野テラス（屋上庭園）

### 設計担当者

ランドスケープ：山本富雄 / 建築：田野雄二郎

インテリア：宮沢和隆 / 構造：日野雅樹

電気：渡辺俊 / 衛生：庄司周作 / 監理：山田眞五



武蔵野テラス・紅葉の頃

### 建物データ

所在地	東京都調布市深大寺南町
竣工年	2008 年
敷地面積	23,703.31㎡
延床面積	58,893.41㎡
構造	RC造
階数	地上14階

### 主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q3.1 生物環境の保全と創出（深大寺周辺・国分寺崖線の緑と連続する地域の郷土種による植栽計画、緑と野生小動物の生息地域のネットワークの確保、屋上庭園による建築緑化）
- Q3.2 まちなみ・景観への配慮（地域の景観特性である武蔵野の風景の継承、自然素材による武蔵野イメージの実現。）
- Q3.3 地域性・アメニティへの配慮（公開街角広場・エントランス広場と公開歩道の連続空間（約847m）の確保。）
- LR3.2 地域環境への配慮（建築をセットバックし緑地と歩道を確保、安全な歩行空間、豊かな緑による日陰の確保。）